



ネイチャーセンターだより

2023年9・10月号

新・いきもの図鑑



ウンラン（海蘭）

海岸の砂地に生え、1～2cmの淡い黄色の花を咲かせる植物。北海道から九州まで全国的に分布していますが、関東南部以西では多くの府県で絶滅危惧種に指定されており、和歌山県、徳島県、佐賀県では絶滅してしまっています。

その名の通りランのような花を咲かせる植物ですが、分類はオオバコ科で、キンギョソウの仲間です。花をよく見てみると、下の花びらが大きく反り返るようにふくらんでおり（オレンジ色の部分）、花の中心部が見えなくなっています。このような花を仮面状花といいます。葉はやや厚みがあり、潮風にさらされる厳しい環境でも水分の蒸発を防いで生きていることがわかります。

春国岱では8月から9月中下旬にかけて、ヒバリコースとハマナスコースの海沿いで花を咲かせます。散策の際はぜひ足元を探してみてください。

【参考文献】梅沢俊、2018、北海道の草花。北海道新聞社、環境省、2023、生物情報収集・提供システムいきものログ、(2023/8/7 閲覧、<https://ikilog.biodic.go.jp/Rdb/pref>)

しゅんく に たい くじょ 春国岱のアメリカオニアザミを駆除しました

NEWS

7月21日、春国岱駐車場周辺に生えていたアメリカオニアザミ（セイヨウオニアザミ）を14株駆除しました。アメリカオニアザミはヨーロッパ原産の植物で、北アメリカからの穀物や牧草に混ざって移入したといわれています。非常に繁殖力が強く、生態系被害防止外来種に指定されている植物です。根室には在来のアザミが複数種生育していますが、アメリカオニアザミは花が上を向いてつき、茎や葉のトゲが在来のものより鋭く、葉の裏は白い綿毛が密生しているのが特徴です。駆除には皮手袋をして行いましたが、その鋭いトゲは皮手袋をも突き破るほどでした。今回は幸い、花が咲く前だったので、種を飛ばす前に駆除できましたが、わずかに残った根から来年も生えてくる可能性があり、今後も移入がないか注意して見ていきたいと思えます。

根室市内でも、所々で咲いているのを見かけます。ご自分で駆除される場合は、トゲにご注意ください。ゴミ袋も突き破りますので、一度新聞紙でくるみ、「トゲ注意」など記載をされるとごみを収集される方にも親切です。また、在来のアザミを誤って駆除しないよう、種類を調べることもお忘れなく。



▲春国岱草地に点在していたアメリカオニアザミ



▲上を向いた花と、在来のものより鋭いトゲを持つのが特徴

見どころMAP

※まだまだ虫の多い季節です。なるべく肌を出さない服装、虫よけスプレーや蚊取り線香のご利用をおすすめいたします。



- 観察路(ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路(ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路(キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路(アカエゾマツコース0.4km、約10分)
- 観察路(小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路(春国岱上は車両進入禁止)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(入館無料)
- ★ 東梅野鳥観察舎(東梅ハイド)

9・10月の見どころ予報

凡例

- ◎ ぜったい見られる (と思う)
- ちょっと気をつければ見られる
- + よーく気をつければ見られる
- ・ めったに見られない

オジロワシ オオワシ	○	オジロワシは樹木の枝や消波ブロックなどに止まっているところが見られます。干潮時には、風蓮湖や根室湾の干潟に降りて、エサを探していることも。オオワシは例年、10月下旬頃が初認です。
タンチョウ	○	春国岱周辺の湿地や干潟などで見られます。アオサギの群れに混ざって休息していることもあります。
シギチドリ類	+	干潮時に春国岱湾の干潟や根室湾の干潟で採食する様子が9月下旬頃まで観察できます。過去、9月によく観察されたのは、メダイチドリ、ミヤコドリ、ホウロクシギ、キアシシギ、トウネンなど。
オオハクチョウ	+	例年は、10月10日前後が初認です。最盛期の11月上旬には、風蓮湖・温根沼全体に約1,700羽のオオハクチョウが飛来します。
カモ類	○	9月中旬頃から渡来し、よく見られるようになります。最も数が多いのはヒドリガモとオナガガモ。マガモ、ハシビロガモ、コガモなども少数見られます。
春国岱	野鳥(森)	運が良いと、クマガエラの鳴き声が聞けたり、森の上を飛ぶ姿が見られます。
	花	海岸では、9月は、エゾオグルマ、ウンラン、ウラギクなどの花が見られます。木橋周辺でアッケシソウが紅葉し始め、10月中旬ごろまで見られます。
自然学習林	野鳥	ハシブトガラ、シジュウカラ、ヒガラ、ゴジュウカラ、キバシリ、キツツキ類(アカゲラ・コゲラ・オオアカゲラ)が見られます。
	花	9月にはエゾトリカブト、キツリフネ、ゲンノショウコ、エゾゴマナ、ミゾソバ、サラシナショウマなどの花が見られます。
	紅葉	ツタウルシ、ヤマブドウ、シウリザクラなどが紅葉し始めます。
危険生物		エゾイラクサ・ツタウルシには、さわらないようにご注意ください。マダニ・カ・ヌカカを防ぐため、虫よけ剤の塗布をおすすめします。

7月に春国岱でヒグマが目撃されました

7月9日夕方に風蓮湖を渡って春国岱に上陸するヒグマが目撃され、その後も数日間、ヒグマが確認されました。春国岱でヒグマが目撃されるのは2018年8月以来、5年ぶりです。通報のあった7月9日から8月10日まで、安全確保のために春国岱の散策路は全面封鎖となりましたが、現在は安全確認ができたため、散策路はご利用いただけます。森のある場所はヒグマの生息地と考え、野生動物の生息地に邪魔している気持ちで行動しましょう。



2021年11月5日根室市内で撮影
※今回春国岱にあらわれた個体ではありません。

【ヒグマに会わないために】

- ヒグマの出没情報に気をつける。
散策前にネイチャーセンターに立ち寄ることや、根室市のホームページで情報を確認しましょう。
根室市 ヒグマ目撃情報 で検索
<https://www.city.nemuro.hokkaido.jp/lifeinfo/kakuka/suisankeizaibu/nourin/oshirase/4218.html>
- 薄暗い時間の行動はさける。
- 足跡や糞を見つけたら、すぐに引き返す。
- 森林や沢に入るときは、音を立てる。
鈴をつける。手をたたく。声を出す。
ヒグマが人の存在に気がつき、たいていはヒグマの方から人をさけてくれます。
- ごみは持ち帰りましょう。
ヒグマは鋭い嗅覚をもっています。人が捨てた食べものに寄ってこないように、絶対にごみは持ち帰りましょう。野生動物に食べ物を与えることは、言語道断です。人間の不注意が、人間も、ヒグマも、危険におとし入れることになります。
- 遠くにヒグマを見つけたら、様子を見て行動しましょう。
ヒグマが人に気づいていなければ、そっとその場を離れましょう。こちらに気づいている場合は、クマの移動方向を見定めながら、静かに立ち去りましょう。叫ぶこと、走ることは自殺行為です。落ち着いて行動しましょう。



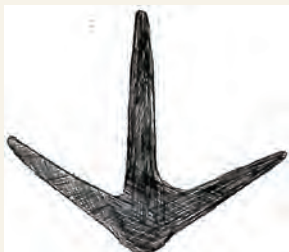
左：ヒグマの足跡
右：ヒグマの糞

【参考文献】北海道環境生活部環境局自然環境課。あなたとヒグマの共存のために（冊子）。
北海道環境生活部環境局自然環境課。ヒグマを知ろう - あなたとヒグマのために -（冊子）。→ネイチャーセンターで配布しています

春国岱クイズ

春国岱で8～10月にかけて多く観察されるアオサギ。首の長いその姿から、タンチョウに間違えられることもよくあります。シルエットが少し似ているアオサギとタンチョウですが、次のイラストは2種の足跡です。では、アオサギの足跡はどちらでしょうか？

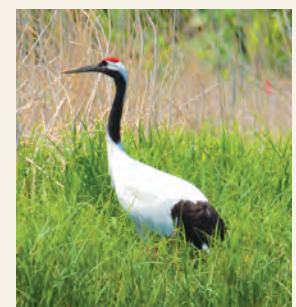
①



②



アオサギ



タンチョウ

答えはウラのページ

★春国岱ネイチャーセンターのイベント情報★

申込み・問合せ先：根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター
電話 0153-25-3047 / メール nemu_nc@marimo.or.jp

◆9/17 春国岱・秋のハイキング 要申込

春国岱の草原やアカエゾマツコースを歩き、アッケシソウの草紅葉や秋の渡りの鳥などを観察するハイキングです。

- ◇開催期間：9月17日(日) 9:30～12:00 ※風雨の強い時は9月24日(日)に順延
- ◇集合/解散：春国岱ネイチャーセンター/春国岱駐車場
- ◇対象：小学生～おとな(小学生以下は保護者同伴)。ご自分の足で往復4kmの行程を歩ける方。
- ◇定員：20名(先着順)
- ◇参加費：1人100円(保険代)
- ◇服装・持ち物：歩きやすく汚れてもいい靴または長靴、雨具、帽子、タオル、飲み物、筆記用具、お持ちの方は双眼鏡(貸出しあり先着順)、虫よけスプレー
- ◇申込方法：メール、電話または直接。参加者全員の氏名と連絡先を(小学生以下の方は年齢・学年も)お知らせください。
- ◇申込メ切：9月15日(金) 16:00



◆9/18 春国岱ボランティアゆるふわ体験 要申込

すがすがしい秋の林で春国岱ネイチャーセンターのボランティアグループ「スंक」のメンバーと自然学習林内で植物の調査を体験します。昨年設置したシカ柵の中と外の植物の違いを調べます。

- ◇開催期間：9月18日(月・祝) 10:00～12:00 ※雨天・荒天の場合は9月25日(月)に順延
- ◇集合/解散：春国岱ネイチャーセンター
- ◇対象：春国岱ネイチャーセンターでのボランティア活動に興味のある18歳以上の方
- ◇定員：10名(先着順)
- ◇参加費：無料
- ◇服装・持ち物：野外で活動できる服装(長袖・長ズボン)、長靴、帽子、飲み物、タオル、筆記用具、虫よけスプレー
- ◇申込方法：メール、電話または直接。参加者全員の氏名、連絡先をお知らせください。
- ◇申込メ切：9月17日(日) 16:00



募集中!

ボランティア『スंक』

春国岱ネイチャーセンターでは、施設ボランティアグループ『スंक』で活動して下さる方を随時募集しています。

『スंक』は、ネイチャーセンター周辺の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び行動することを目的として活動しています。月に1回(基本的に第3月曜日)の定例会で、自然学習林の巡回や道標・樹名板などの管理を行ったり、市民向けのイベントを企画したりしています。熱いながらもゆるい楽しい集まりです。

ボランティアに興味のある方、定例会の見学ご希望の方は、ネイチャーセンターまでお問合せください。

- ◆対象：18歳以上
- ◆年会費(ボランティア保険料含む)：1,000円

フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 春国岱の駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは法律で禁止されています
- 観察路からはずれないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 禁煙にご協力ください
- 野生動物の生息地です。マダニも多く生息しています。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください。
- ドローンを飛行される際は、他の利用者や野生生物に配慮をお願いいたします。



クイズのこたえ 答②。タンチョウは後ろ向きの本(第1趾)が短く、足跡には残りません。また、第1趾が短いので、枝をつかむことができず、アオサギのように木の上にとまることはできません。

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(入館無料)

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL: 0153-25-3047 FAX: 0153-25-8570

Eメール: nemu_nc@marimo.or.jp

HP http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

Facebook <https://www.facebook.com/shunkunitai/>

◆開館時間 9:00～17:00(4～9月) 10～3月は16:30閉館

◆休館日：(毎週水曜日、祝日の翌日(土・日を除く)、水曜日が祝日の場合翌々日)

9月6・13・19・20・25・27日 10月4・10・11・18・25日

◆団体でご利用の方へ(事前予約制・2週間前までにご連絡ください)

自然観察の案内や室内でのレクチャーなどのプログラムをご利用いただけます。



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録